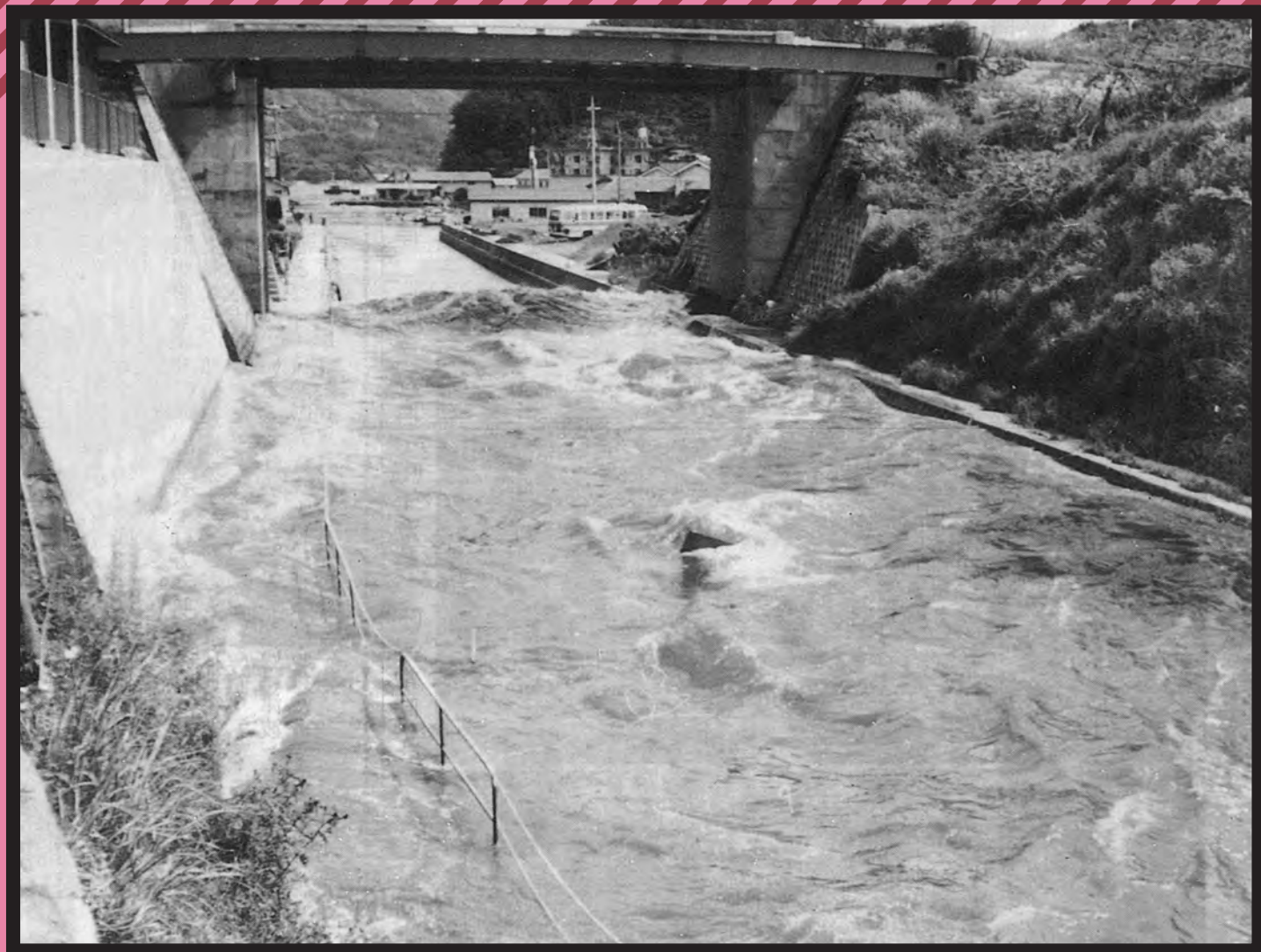


西ノ島町

2017年9月改訂版

津波ハザードマップ



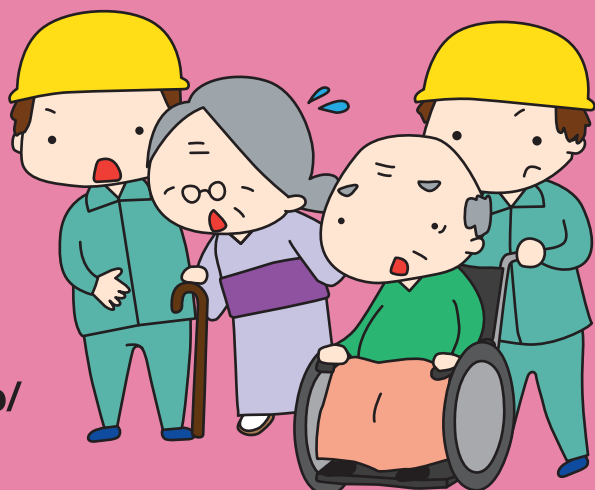
〒684-0211

島根県隠岐郡西ノ島町浦郷 534

西ノ島町役場総務課危機管理係

TEL 08514-6-0101

<http://www.town.nishinoshima.shimane.jp/>



はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、これまでの想定を超える大きな地震と津波により未曾有の被害をもたらしました。特に津波による被害は甚大で、津波の怖さを再認識させられました。

太平洋側に比べ地震の少ない日本海側に位置する本町においても、過去には津波による被害を受けています。

この西ノ島町津波ハザードマップは、島根県が行った津波シミュレーションをもとに、想定される津波浸水範囲を示すとともに、津波避難の注意事項等をまとめたものです。

津波から身を守るためには、とにかく高いところへ避難することが最も重要です。津波のことをよく知り、日頃から津波災害に備えましょう。

目次

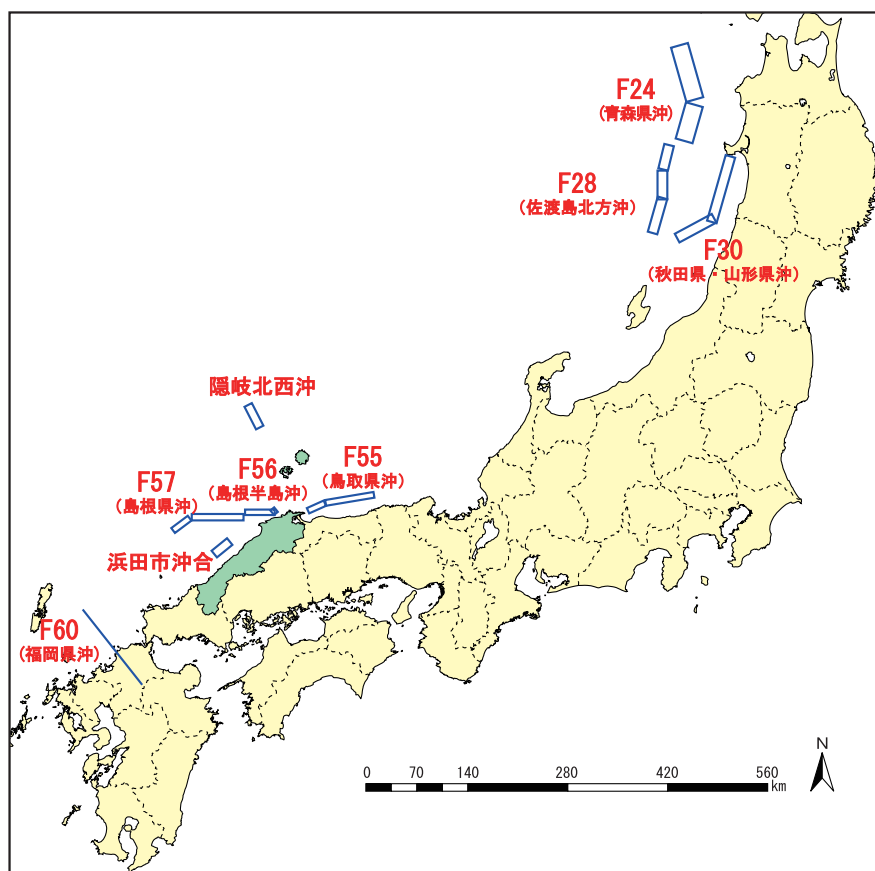
津波ハザードマップについて	3
表示板について	4
津波情報について（警報・注意報）	5
津波情報の入手	6
津波避難の特徴を知ろう	7
津波避難に備えて	8
自助と共助（個人と地域の役割）	9
津波ハザードマップ	10
わが家の防災メモ&チェックリスト	裏表紙

津波ハザードマップについて

西ノ島町津波ハザードマップは、大規模地震が発生した場合、町内のどの場所が被害を受ける恐れがあるのか、島根県が発表した津波浸水想定図を参考に、平成 25 年 3 月作成の津波ハザードマップを踏まえて作成したものです。浸水の恐れがある地域には、想定浸水高を表示しています。

但し、これらの表示は一定の前提条件のもとで想定されたものであり、想定した条件を超える規模の地震、潮位等によっては、表示以上の浸水、想定外の場所での浸水が発生する恐れがありますのでご注意ください。

今回想定した断層の位置



西ノ島町での最大波高

想定断層	最大津波の地点	最大津波の高さ
F28 (佐渡島北方沖)	美田港の北東	7.3 m

※津波浸水想定について(解説) (平成 29 年 3 月 24 日/島根県) より

表示板について

海拔表示板・想定浸水高表示板について

海拔表示板及び想定浸水高表示板は日頃から津波に対する意識啓発をはかり、いざという時の避難対応が速やかに行われるよう設置しています。

それぞれの表示板の内容は次のとおりです。

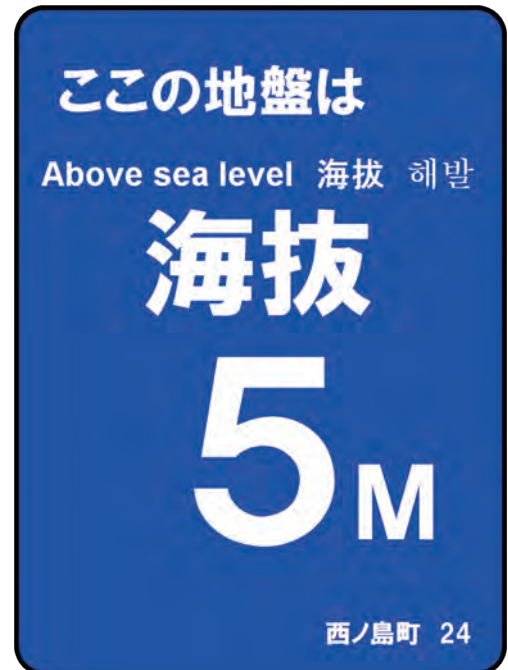
海拔表示板について

○設置場所

- ・概ね避難ルート上に設置しています。
- ・避難時の高さの目安に利用します。

○数値について

- ・表示板の設置してある場所の海拔を表示しています。
- ・メートル単位で表示しています。



想定浸水高表示板について

○設置場所

- ・シミュレーション結果にもとづいて浸水が想定される範囲に設置しています。

○数値について

- ・津波ハザードマップの表示を基本に0.5m、1m、2m、3m、4m、5m以上の単位で表示します。



津波情報について（警報・注意報）

気象庁、行政が発表する情報に注意

津波の時の避難は一刻を争うため、津波に関する情報をいかに素早く、正確にキャッチするかがポイントです。特に遠方を震源とする津波の場合、揺れを体感しない可能性もあり、気象庁及び行政からの情報には注意しましょう。

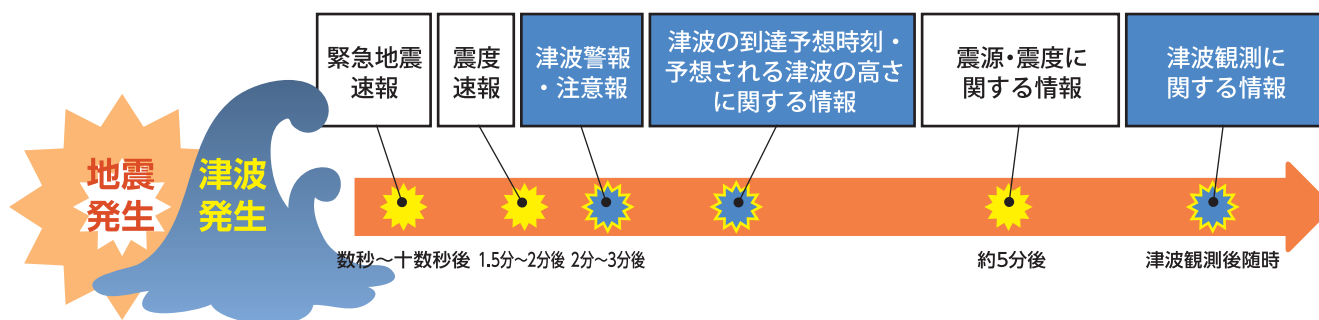
津波警報・注意報の分類

	予想される津波の高さ		取るべき行動
	数値での発表（発表基準）	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m 超 (10m< 高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、大津波・津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！
	10m (5m< 高さ ≤ 10m)		
	5m (3m< 高さ ≤ 5m)		
津波警報	3m (1m< 高さ ≤ 3m)	高い	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。
津波注意報	1m (20cm ≤ 高さ ≤ 1m)	表記しない	

◎マグニチュード 8 を超える巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、その海域における最大級の津波を想定して、大津波警報や津波警報を発表します。これにより、津波の高さを小さく予想することを防ぎます。この時、最初の津波警報では、予想される津波の高さを「巨大」、「高い」という言葉で発表して非常事態であることを伝えます。

〈解説〉気象庁が発表する情報の流れ

日本近海で発生した地震の場合



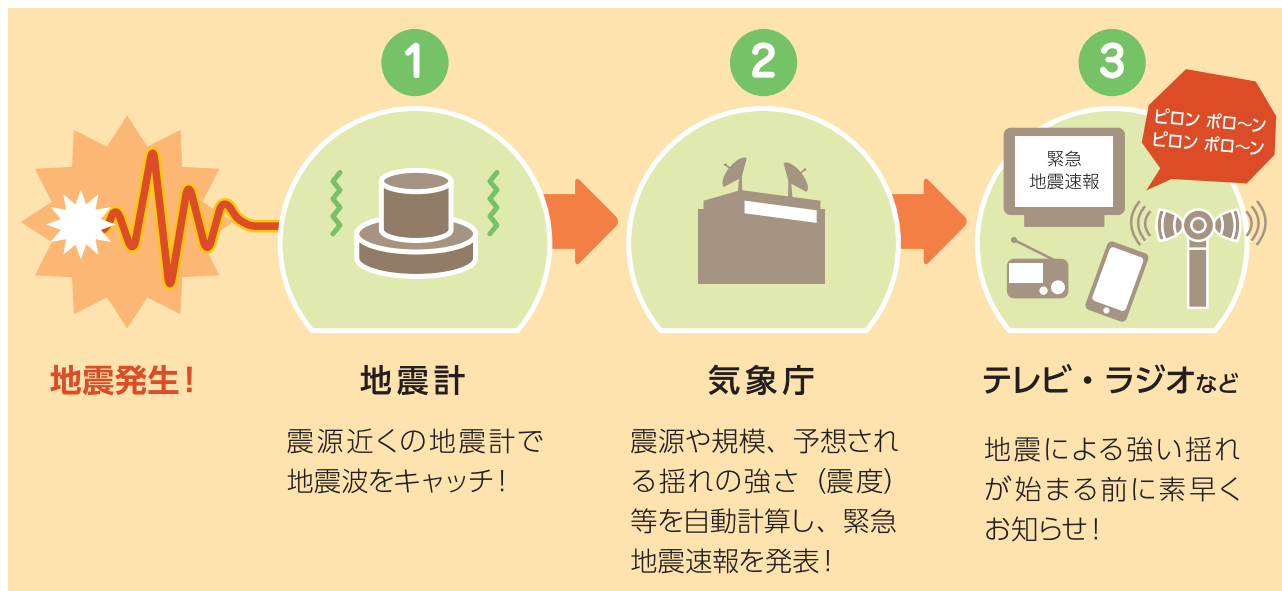
※気象庁資料を基に作成

- ・発表された津波の高さ以上の津波が来る場合があります。
- ・なるべく高い場所へ避難し、津波情報に注意し、状況の変化に対応できるようにしましょう。

津波情報の入手

緊急地震速報とは

地震による強い揺れを事前（揺れる前）にお知らせするための情報です。



防災行政無線

防災行政無線は、役場などからの注意喚起や災害が発生した時の緊急情報の提供に利用します。

全国瞬時警報システム【J-ALERT(ジェイ・アラート)】

大津波情報、緊急地震速報等の緊急情報を、人工衛星を用いて国（内閣官房・気象庁から消防庁を経由）から送信し、西ノ島町の防災行政無線等を自動で起動させるもので、国から住民まで緊急情報を瞬時に伝達するシステムです。



しまね防災メール

気象情報、地震、津波、水防情報、大気汚染情報などのメールを配信するサービスです。
登録は、メールアドレス bousai-shimane@xpressmail.jp に空メールを送信してください。
タイトル、本文は不要です。空メール送信後 30 分以内に登録用メールが届きます。
指示に従って登録してください。

※ 迷惑メール対策を行っている方は、設定変更が必要です。
※ 詳細は、しまね防災ポータルサイトを参考してください。

<http://www.bousai-shimane.jp/bousai-mail/2013121600316/>



左記QRコードを利用して空メール用アドレスを読み込むことができます。

津波避難の特徴を知ろう

津波から身を守るためには、津波の特徴を知ることが大切です。

津波は繰り返し来る

津波は繰り返し襲ってきます。
津波が落ち着くまで避難しましょう。



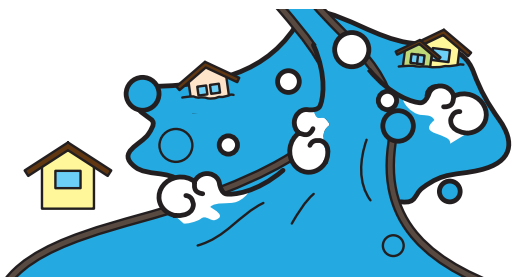
津波のスピードは速い

「注意報」・「警報」が出る前に来る津波もあります。小さな揺れでも避難しましょう。



海辺以外でも注意

津波は河川を遡上します。
河川からも離れましょう。



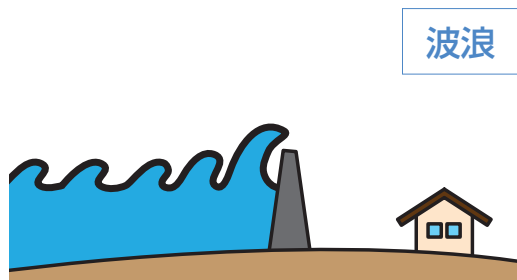
引き潮が無くても来る

津波の前に引き潮が無くても、
津波が来る場合もあります。



津波は膨大なエネルギー

津波は普通の波と違い、津波は海底から海面までの海水全体が「巨大なかたまり」となって押し寄せてきます。50cmの津波でも立っていられなくなります。



津波避難に備えて

津波から身を守る最大のポイントはとにかく高い所へ逃げることです。いざという時のために、正しい知識を身につけておきましょう。

より高い所へ避難する

海岸から「より高い」場所に避難しましょう。



警報・注意報ですぐ避難

震源が遠い場合、揺れを感じなくても津波は来ます。警報、注意報がでたらすぐに避難しましょう。



正しい情報を入手しよう

ラジオ、テレビ、防災行政無線などで、正しい情報を聞きましょう。



満潮時には特に注意

満潮時には水位が高くなり、被害が大きくなる恐れがあります。



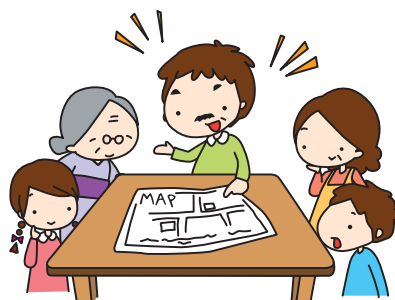
海岸・河川に近づかない

注意報・警報が解除されるまで、海岸や河川には近づかないようにしましょう。



家族会議を開こう

避難する場所、連絡手段を事前に家族で話し合っておきましょう。



自助と共助（個人と地域の役割）

災害発生直後は、消防などの行政機関が被災者救助などに十分に対応できない可能性があることから、「自分の身は自分で守る」ことを徹底し、地域の人と連携し、地域ぐるみで助け合い、支え合うことが大切です。

家庭では【自助】

避難場所の確認

津波の時は、避難に時間の余裕がありませんので、あらかじめ避難場所を確認しておきましょう。

避難ルートの確認

避難ルートに危険な箇所がないか確認しておきましょう。

家族の連絡先

災害時の連絡方法を、あらかじめ決めておきましょう。



地域では【共助】

自主防災組織の設立

自主防災組織を設立して、地域の防災力を高めましょう。

災害時要援護者の支援

高齢者や障がい者などの避難時に支援が必要な人に対しても、地域で協力して支援しましょう。

一時的な避難場所の設定

津波の時にすぐ安全に避難できる「一時的な避難所」を地域であらかじめ決めておきましょう。

避難訓練等への参加

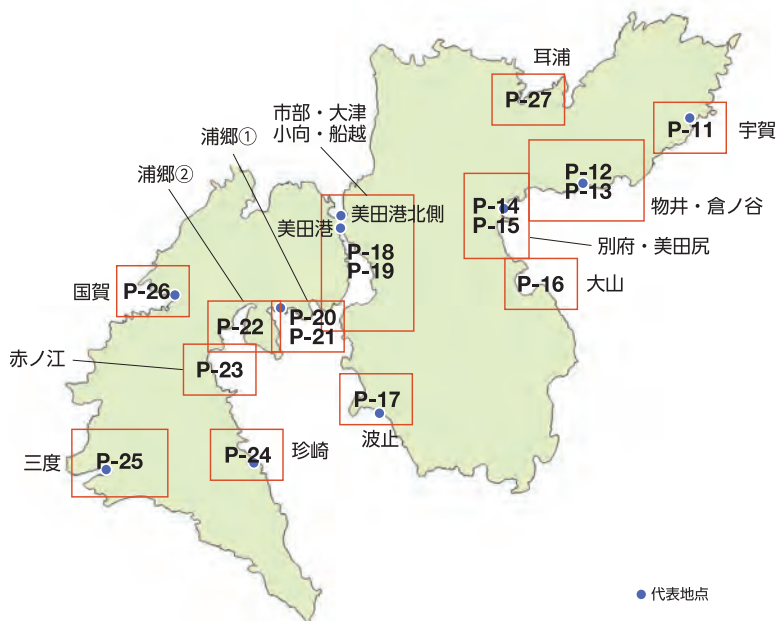
地域で行われる防災訓練等に参加するなど、地域ぐるみで心と体の準備をしておくことが、いざという時の助けになります。



津波ハザードマップ

津波ハザードマップ早見表

ハザードマップは 1/5000 または、1/6000 の縮尺で表示されています。
 想定浸水域は、メッシュ表示により浸水の範囲と浸水の高さを示しています。
 シミュレーション結果は、島根県が想定した断層の位置と地震の規模で津波が発生した場合のそれぞれ最も高い津波を反映しています。



※津波ハザードマップで示す浸水想定区域は、10.0 mメッシュで示しています。

津波到達時間（代表地点）

代表地点	① 到達の早い津波			② 水位が最も高まる津波		
	想定断層	海面変動影響 開始時間	津波最高水位	想定断層	海面変動影響 開始時間	津波最高水位
宇賀 (宇賀港海岸)	F55 (鳥取県沖)	35 分	1.9 m	F24 (青森県沖)	127 分	2.7 m
物井 (物井港海岸)	F55 (鳥取県沖)	35 分	1.8 m	F55 (鳥取県沖)	36 分	1.8 m
別府 (別府港海岸)	F55 (鳥取県沖)	35 分	2.0 m	F55 (鳥取県沖)	36 分	2.1 m
波止 (波止港海岸)	F56 (島根半島沖)	32 分	0.9 m	F55 (鳥取県沖)	34 分	1.6 m
美田港 (美田港海岸)	F56 (島根半島沖)	35 分	1.6 m	F55 (鳥取県沖)	37 分	3.1 m
浦郷 (浦郷漁港海岸)	F56 (島根半島沖)	32 分	1.1 m	F55 (鳥取県沖)	36 分	2.0 m
珍崎 (珍崎漁港海岸)	F55 (鳥取県沖)	34 分	1.7 m	F55 (鳥取県沖)	34 分	1.7 m
三度 (三度漁港海岸)	F56 (島根半島沖)	24 分	2.1 m	F57 (島根県沖)	31 分	3.4 m
美田港北側 (美田港海岸)	F56 (島根半島沖)	31 分	2.8 m	F28 (佐渡島北方沖)	98 分	5.9 m
国賀 (国賀港)	F56 (島根半島沖)	27 分	3.2 m	F28 (佐渡島北方沖)	98 分	6.7 m

①到達の早い津波 : 想定地震津波の内、最も早く到達する津波

②水位が最も高まる津波: 想定地震津波の内、津波最高水位が最も高くなる津波

※代表地点: 海岸保全基本計画の対象地点内の海岸線上で住家等に近い地点

代表地点が位置する海岸を () 内に記載

※海面変動影響開始時間: 海面に± 0.2m の水位変動が生じるまでの時間

参考: 気象庁の津波注意報の発令基準 (津波高 0.2m 以上、1.0m 以下)

※津波最高水位 : 海岸線上の各地点での最も高い津波水位 (T.P. m)

わが家の防災メモ&チェックリスト

わが家の緊急連絡先

連絡先	電話番号	住所	備考

災害用伝言ダイヤル「171」の使い方

「171」をダイヤル(ガイダンスが流れます)

録音する時は「1」

再生する時は「2」

被災地の自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番から入力(ガイダンスが流れます)

伝言を録音します。

伝言を再生します。

●一般加入電話(ダイヤル式・プッシュ式)公衆電話、携帯電話、PHS(一部の事業者を除く)で利用できます。

緊急連絡先

●役場関係		●医療機関	
西ノ島町役場本庁	6-0101	隠岐島前病院	7-8211
西ノ島町別府支所	7-8101	浦郷診療所	6-1211
●消防署		●ライフライン関係	
隠岐島消防署	119	中国電力(株)(停電・故障)	0120-313-782
隠岐島消防署島前分署	6-1119	*ガス会社	
●警察		*水道	
島根県警察本部	110	西ノ島町役場環境整備課	6-1748
浦郷警察署	6-0121	ゴミ焼却場 清美苑	6-1338

*印はご家庭でご記入下さい。